

特集

有田川からの 新たな恵み

平成28年2月末、多目的ダムを利用した全国的にも珍しい町営の小水力発電所が完成しました。

有田川町営
小水力発電所

小水力発電とは？

水力発電と同様、川や水路を流れる水の力でタービンを回して発電します。水力発電のうち、おおむね出力が1,000kW以下のものを指します。

通常の水力発電と比べると、建設時の自然環境への負荷や二酸化炭素の排出量が少なく、また太陽光や風力発電と異なり、昼夜・年間を通して安定した発電ができるため、設備の利用率が高いことが特徴です。さらに出力変動が少ないため、系統安定・電力品質に影響を与えないという利点もあります。

二川小水力発電の仕組み

これまででは、二川ダム下流域の枯渇防止のために放流していた水はエネルギーを持っていました。これは言わば、捨てられていた資源ですが、二川小水力発電所が出来てからは、左上写真のような水車を回すことで発電に利用されています。